

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

ヨコスカ Discovery

ディスカバリー

第23回 大矢部に三浦一族の史蹟を訪ねる

三浦一族の本貫地、大矢部の里を歩き、中世のロマンを感じてみませんか。
(距離約5km、所要時間:約3時間)



衣笠城跡

衣笠城は三浦氏初代為通が康平年間(1058~1064)に築いた山城である。衣笠城は、治承4(1180)年源頼朝の拳兵に応じ、平家方3000騎の攻撃を受け三浦一族が奮戦した衣笠合戦で有名となる。



満昌寺

建久5(1194)年、鎌倉幕府創設の礎となって自害した三浦大介義明の遺徳を称え、源頼朝が建立したと伝えられる。本堂背後には、三浦義明坐像(国重文)を安置する宝物殿や三浦義明夫妻の廟所がある。



大善寺

天平時代、僧行基がこの山を見て、不動明王を彫り、修験の場を開いたと伝えられる。本尊は矢執り不動、後三年の役では三浦氏2代為継に向う矢を取ったといわれ矢執り不動と呼ばれる。



スタート

衣笠城址バス停

清雲寺

長治元(1104)年三浦氏3代義継が父為継の追福の為建立したと伝えられる。本尊の滝見観音は、日宋貿易が盛んな頃招来した渡来仏であり、国指定重要文化財である。本堂裏手には三浦氏3代の廟所がある。



ゴール

大矢部二丁目バス停

腹切り松公園

治承4(1180)8月27日、衣笠城落城ののち、三浦大介義明は愛馬と共に祖先の廟所を参詣した後この松の下で自害したと伝えられる。



* 拝観希望の方は事前に寺社へお問合せください。
満昌寺は宝物殿拝観料300円です。ほかの寺社についても、本堂拝観は志納金などをご用意ください。